

残りの者
シャーアル

石巻祈りの家NEWS LETTER 「シャーアル」(123号)
986-0801 宮城県石巻市水明北3丁目13番28号
TEL /0225-96-1497 Email/ hjm-ja2@yg8.so-net.ne.jp

振替口座 02290-6-126186 口座名称 阿部 一

代表/阿部 一 副代表/菊池せい子

信仰: 小さなフィロソファーの発見

- 大きな地震や大雨で、何か落ち着かない5月でしたが、皆さまにはお変わりございませんか。石巻も気持ちの良い五月晴れが少なく、日中と夕方の寒暖の差が激しく、なかなか体がついて行かない日々を過ごしております。
- それでも、季節は確実に初夏へと移り、庭の草花も今年も美しい姿を楽しませてくれています。連休過ぎには郊外の田圃もあつという間に淡い緑の絨毯に変わりました。
- 支援活動中のこと、お腹に第4子妊娠中の主婦が、小さな女の子とそのお兄ちゃんを連れて支援物資の要請に来了。
- その2人の天真爛漫な幼子を見た妻は、その経済的な環境では持っている特性が育てられないと危惧し、ピアノを持っていないけれど、音楽を知る知る喜びと学ぶことの楽しさを伝えたいと月謝無しで指導してきました。
- レッスン室には、子供の本や親に読んで欲しい本を沢山置いてあります。リコーダーやピアノの演奏ができるだけでなく、様々な本を読み、疑問を持ち、考える力が知らず知らずのうちにできるようになるの願いからです。
- 震災の年に生まれたその末娘も今年小学生となり、母親の要望でピアノレッスンを受けることになりました。夢中で本を読んでいる上の兄と姉の姿に触発されて、その子も率直に様々な問いを妻にするようになりました。
- 字には書き順があることを知ったこの子は、漢字に強い関心を持ち、道路で見つけた「止」という字に関心を持ち、何と読むか、その書き順は？と質問してきました。そして「人」という漢字を「丿」「ノ」の順に書いているのが間違っていることを教えられ、その「人」を書きながら、何かを発見したように「あ！そうか！これは倒れないように助けているんだ！」と言ったのです。
- 字源を引けば、「人」という漢字は人間の姿を横から見た象形文字から生まれたと説明されています。辞書には生物学的とか社会学的とかの観点では説明されていますが、改めて「人とは何か」を考えると、私たちは当然のことと認識しているために、それを納得する形ではなかなか説明できません。
- 聖書では、アダムを土から造られた神は、「人が、ひとりであるのは良くない。わたしは彼のために、彼にふさわしい助け手を造ろう。」(創世記2/18)と言われて、エバを造り、家族を立ち上げ、そこから「人間(じんかん)」が出来上がってきた経緯を説明しています。
- そして、神の命令に背いた人間に罪が入り、死が入ってきました。その神と人間の壊れた関係を修復するためにイエス・キリストを「人の子」の姿でこの世に送り、その罪の贖いの子羊として十字架に捧げられました。
- このような人間同士が、愛によって支え合うことの大切さを学ぶ訓練場所として、教会が与えられているいます。
- この世の知識が増えて、全てが当然と考えがちな私に、改めてこの幼子のように身の回りの一つ一つを新鮮な驚きを持って見るものの大切さを教えてくれた出来事でした。

先月の多くの恵みから

- ① 5/23(水)の定例祈りの日に会員全員でオアシス教会で持たれた川上直哉師(石巻栄光教会牧師)の導きでの第2回「ゆるしとは何か」の学び会に出席しました。今回は「ゆるすこと、祝福すること」を主題に、最近起こったインドネシアやアメリカでのテロやヘイト事件による殺人へのクリスチャンの対応についてゆるしの観点から深い学びができ感謝しました。
- ② 5/19故大平あつ子姉の御主人が訪問して下さい、天に召



あなたと私が互いに愛し合うこと、これが、わたしのあなたに与える戒めです。ヨハネ15/17

- される前の家族との和解の嬉しい知らせと葬儀について心にかかっておられたことを率直に話して下さい、その重荷を下ろして頂けるとも恵まれた時間を持つことが出来ました。
- ③ 5/18-20にわたり被災地への熱き思いを持っておられる上原権治兄が仮設に残っておられる方の訪問とICCCでのGon Concertを持って下さいました。
 - ④ 先に永井敏夫師より連絡のあった長野県でHESED SCHOOLを開校しようと準備されている金師とスタッフが趙師ご夫妻と共に5/17に訪ねて下さって、その主にある熱き思いを伺い、共に神の栄光が現されるようにと祈り合いました。
 - ⑤ 今月は4月に訪問下さった濱中さんははじめ多くの方から励ましのメールや手紙、新井勝太兄、Dr.木下夫妻からの献品、鈴木基行夫妻、ベック・由美子姉、藤井 齊兄からの継続的な献品でこの群の支援活動と教会活動が支えられ感謝です。
 - ⑥ 5/12に地元紙石巻日々新聞のコラム「潮音」に第2回分(毎月1回全6回)が掲載されました。証しが用いられるように。
 - ⑦ 6/1には神保 幸夫妻、6/2には三浦正行先生がカナダの友人と訪問予定、6/3の礼拝には Ritsuko Narita Larsonご家族が出席されます。石巻滞在中は被災者を訪ねて下さいませ。
 - ⑧ 5/22に斎藤照身兄より、見事な季節の野菜ワラビを12kgを送って頂き、兄姉と感謝して堪能するとともに、近所にもお裾分けができて喜ばれました。


- 今月、次の課題を祈っていただければ幸いです。
- ① ガンと闘っている今野かつ子さん、手術後の千葉真理子姉/藤井 齊兄と骨折した木下恵美子夫人の回復のために。
 - ② 地域より求道者が起こされるように。
 - ③ Dean師ご夫妻の働きと7/15のGon Min チームのThe Bridge Concertのために。
 - ④ 平塚さんのために。

群の定期集会	
・礼拝(毎週日曜日)	10:00-11:30
・祈り会(毎週水曜日)	10:00-11:30
・聖書を読む会(第1火曜日)	10:30-12:00
・ほっと・Time(第3火曜日)	10:30-12:00
・コーラス「花」(第2,4木曜日)	13:30-15:00
・楽しい手芸(第2,4月曜日)	10:00-12:00
・学習支援(地域の子どもの要望に応じて)	

信仰を詠う

6月 山の幸

さざ波の寄するがごとく落葉松の
萌ゆる山道五月に浸る
汚染からのがれし奥羽の山の幸
山菜食ばむ罪人の位置
眠ってはいけないという捕われの
呪文が回わるぜんまいの渦



阿部 八重子
東北の五月は山萌ゆる新緑の季節、82才の誕生日、月山、鳥海山の山容を頂き乍ら翌日玉川湖の林道を走る。自然の恵みを存分に戴きました。

